

あーかす

米子医療センターマガジン #39
January 2023 (令和5年1月号)



巻頭言

うさぎ年に人生100年時代の健康を考えてみましょう

各診療科紹介～整形外科～

米子医療センター活動報告

認定看護師の活動

緩和ケア研修会を開催して

NewFace

地域医療連携室の掲示板

Topics File～栄養管理室の掲示板

Enjoy! 学生 LIFE



■ contents ■

03 巻頭言

うさぎ年に人生100年時代の 健康を考えてみましょう

05 各診療科紹介～整形外科～

06 米子医療センター活動報告

08 認定看護師の活動

09 緩和ケア研修会を開催して

10 New Face

11 地域医療連携室の掲示板

12 Topics File～栄養管理室の掲示板

13 Enjoy! 学生 LIFE



米子医療センターの
ロゴマーク

患者さまと職員が向き合った姿で、患者さま中心の医療提供とYONAGO(米子)の「Y」、MEDICAL(医療)の「M」、CENTER(センター)の「C」の文字を、まごころ、信頼、安心、良質の医療をイメージする「ハート」に組み合わせ「米子医療センター」の明るく元気な姿を表しています。

あーかす

あーかす(Arcus)とはラテン語で「虹」を意味し、英語のArc(弓、橋)+Us(私たち)で「私たちが地域の架け橋になる」という意志を込めてタイトルとしました。私たちの持ついろいろな表情を、地域の方々や医療関係者に広く知って頂き、絆を更に深める情報を掲載してまいります。

うさぎ年に 人生100年時代の健康を 考えてみましょう



国立病院機構 米子医療センター 病院長 久留一郎

はじめに

新年あけましておめでとうございます。皆様お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年は卯(うさぎ)年です。うさぎはその跳び姿から「飛躍と向上」を象徴する動物として親しまれてきました。また、うさぎは穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」を意味します。他にも草木が地面を蔽うように成長する様子を表すので、新しいことに「挑戦」するのに最適な年と言われています。うさぎ年の本年が皆様にとって幸多き年そして発展の年となりますことを心からお祈りいたします。そこで、うさぎ年にちなんで「飛躍と向上」、「家内安全」「挑戦」をキーワードに皆さんと健康を考えてみましょう。

次ページへ続く→



医療技術が飛躍向上しています

旧年中は新型コロナのために、当院でも一時入院を制限するなどみなさんには大変ご不自由をお掛けしました。この新型コロナをきっかけに私たちの生活様式は大きく変わってきました。例えば、コロナ禍では多くの人が会社や学校に通うことなく、家庭でインターネットを使用してリモートワークやオンライン授業を受けることが普及しました。この流れは、医療制度にも影響しています。みなさんはオンライン診療という言葉聞いたことがあると思います。病気になった時に家庭でインターネットを介して医師と直接会話することで診療が受けられる仕組みです。将来、保険証がマイナンバーカードに組み込まれる見込みですので、オンライン診療はさらに普及してゆくでしょう。また、私たちは年に複数回コロナワクチン接種を受けます。このコロナワクチンは従来のものとは異なり、遺伝子治療技術で作られているので、一種の遺伝子治療です。これまで一般の人には無縁であった遺伝子治療がワクチンという形で私たちの社会の常識となりました。悪名高い新型コロナですが、「医療技術の飛躍向上」を推し進めて、新しい時代への扉を開ききっかけにもなっています。

人生100年時代に必要な家内安全を考えます

医療や保健制度の飛躍向上に伴って最近は100歳近くの長寿の方も珍しくなくなりました。最近の医療統計によると、2020年に生まれた男性の凡そ1/4、女性の凡そ半数の方が90歳以上まで長生きすると予測されています。実際にこの

コロナ禍においても、2022年の平均寿命は、女性87.6歳、男性81.5歳ですので、まさに、私たちは「人生100年時代」を生きています。ところが、2020年に入って新型コロナの影響で健診を受ける方が減少しました。コロナ蔓延期に健診や病院の受診控えのために、がんや生活習慣病の早期発見が遅れ、そのケアが難しくなることが懸念されています。最近、健診を受診される方が増加しており、これは好ましい傾向です。英国の心理学者が、「人生100年時代を生き抜くには、人の活力財産と言われる健康、バランスの取れた生活、友人関係が大切である」と言っています。言うまでもなく健康は私たちの最も重要な財産ですから、皆さんが、定期的に健診や診察を受けて体調を管理しながら、心身ともにバランスの取れた生活を送り、新しい年も「家内安全」と参りましょう。

当院は病院機能向上に挑戦して参ります

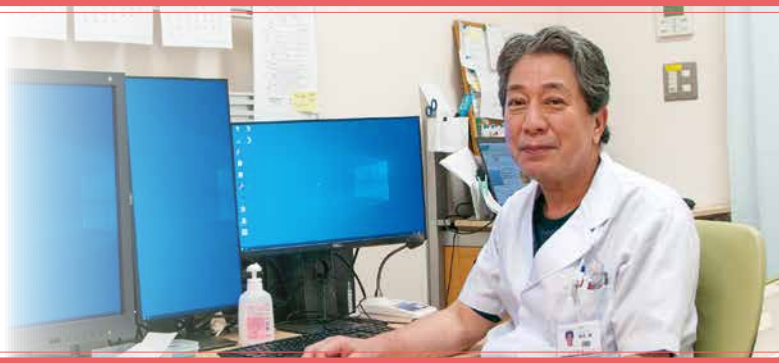
当院では、コロナ禍でしばらく閉じていました緩和ケア病棟を昨年10月から再開しました。また、新型コロナのような新たな感染症にも対応できる病棟の整備も行っています。このように当院は西部医療圏の急性期医療を担う病院として皆様の健康維持に貢献すべく、病院機能を改善して行くために病院を上げて今年も努力を重ねて様々な課題に「挑戦」して参ります。健康管理をしっかりと頂いて、うさぎのように新しい年が皆様にとりまして飛躍向上の年となることをお祈りします。結びに小生の稚拙な川柳で締めくくらせていただきます。

「さあ、跳ぶぞ 足腰氣になるウサギ年」



整形外科

副院長 南崎 剛



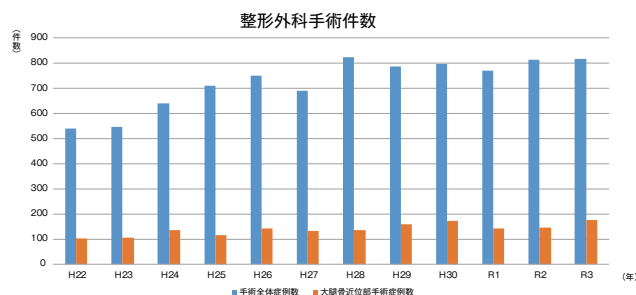
整形外科とは？と、ググると四肢及び脊柱疾患や外傷を中心に骨・関節・筋肉を主に扱う外科学の一分野で、アメリカでは orthopedic surgeryとも言われ、場合によりリウマチ学や形成外科などと連携して治療に当たると書いてあります。とても難しく聞こえますが、一言でいえば、首から足までの内臓を除く運動器(骨・関節・筋肉)を対象とし診察、治療している科でしょうか。骨折やねん挫などの外傷、化膿性や結核性などの感染性疾患、骨・軟部腫瘍、関節リウマチや痛風などの炎症性疾患、骨系統疾患など疾患分野別に、あるいは頸から腰の脊椎、股、膝、足、肩、肘、手など部位別にも分けられ、それぞれ研究会や学会が催され、数多くの認定医が排出されています。あまりに扱う疾患が多く、整形外科を専門としたことに後悔したことは1度や2度では……。

当院の整形外科は現在5名(うち専門医4名)体制で、月から金曜日まではほぼ毎日朝から手術できる体制を敷いております。外来は2診体制で、月、火曜日に骨・軟部腫瘍(南崎、遠藤)、水曜日に膝(大槻)、火曜日と金曜日に手の外科と関節リウマチ(林原)の専門外来を同時に行っています。

年間新患者数や手術件数は、麻酔科や、手術室、病棟、外来看護師の協力、多様なパスの導入や、医師事務補助員などの有効活用が功を奏して年々増加しています。手術は外傷を中心の一般整形手術が主体ですが、高齢者の骨折、特に骨粗鬆症に起因した大腿骨近位骨折や橈骨遠位端骨折、小児

の骨折が多いのが当院の特徴です。その他、骨軟部腫瘍(悪性を含む)手術や平成26年4月から大槻総括診療部長による膝関節疾患が増え、鏡視下手術や変形性膝関節症に対する骨切り術や人工膝関節置換術も多くなっています。令和4年4月から手の外科専門医の林原リハビリテーション医長が大学から赴任し、急速に手の外科症例数が増加しています。このペースを維持すると今年度の手術件数は年間900例を超える勢いです。

今後も当院は西部医療圏での二次救急病院としての役割、大学の医学生教育(クリニカルクラークシップ)の継続、初期研修医や後期研修医への指導など多くの役割をこなすことが求められています。再来年の医師の働き方改革に向け、いつでも安全な医療を提供できるよう整形外科としては他科、他職種を巻き込んだ効果的なチーム医療を推進する所存です。



手術中



多職種カンファレンス

第76回 国立病院総合

理学療法士 秋田 貴之

こんにちは、私はリハビリテーション科の秋田貴之と申します。この度、第76回国立病院総合医学学会に参加しましたのでこの場を借りて皆さまにご報告させていただきます。

今回は、熊本県で開催されました。熊本と言えば…そう!くまモンですね。新幹線を降りた私はすぐにくまモンに会いに行きました。現地のくまモンは地中に埋まっていた(笑)。

その後は、熊本市内をまたがる白川という大きな川があり、水の音や緑を感じながら目的地へと向かいました。学会前日は、第49回全国国立病院理学療法士協議会の総会が予定されており出席しました。そこでは、今年の活動報告や来年度の予定等が報告されていました。今まで自分には関係ないと見向きもしなかった事について、参加した事で様々な気づきがありました。このような活動をして下さる方々のおかげで私たちの職が守られている、また現場の整備がなされている事に気がつきました。チャンスがあれば私もまだまだ微力ではございますが協力したいと思います。

学会当日、開会式に出席しました。とても大きなメインホールには多くの先生方が揃われており、NHOの組織の大きさに驚きました。開会式後は、口頭やポスターを見学しました。その後、ランチョンセミナーで消化器外科のロボットによる手術方法を聴講させて頂きながら、美味しい昼食を頂きました。

お昼を過ぎた頃、大槻統括診療部長にお会いする事が出来ました。いつも病棟では真顔な大槻先生。少し怖いなと思いつつも私は勇気を出して、「ご一緒させていただいてもよろしいですか?」と声をかけると、とてもステキな笑顔で受け入れてくださいました。大槻先生は、次はどこに参加されるのだろうと思っていると「Ope後に誤嚥性肺炎になる患者さんが多い。だから、何か出来ることはないか。口腔ケアや嚥下について最近の動向を知りたい」とおっしゃられ、口腔・嚥下についてのシンポジウムにご一緒しました。大槻先生は熱い眼差しで演者の先生方の話を聴講されておられました。



ほどなくして、自分のポスター発表の順番になりました。5F看護師の東さんや平野さん、高校時代の先輩等がわざわざ足を運んでくださり、私は背筋がピン!と伸びました。お陰様で、私の発表は座長よりベストポスター賞に選出して頂きました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

学会2日目になりました。昨日と同様に気になるテーマやリハビリテーションのみならず、医者、コメディカル、事務等の他職種の先生方の発表を聞くことができ、大変有意義な時間を過ごす事ができました。これもひとえに皆様のご協力あつての事です。本当にありがとうございます。この多くの産物を米子の皆様に還元出来るよう努める次第です。これからも精進して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。





医学会に参加して

臨床検査技師 松本 結花



令和4年10月7日～8日に熊本県で開催された国立病院総合医学会に参加しました。これは国立病院機構の職員が日本各地より集まる学会で、3年ぶりに対面式の現地開催形式で行われました。私は初めて熊本に行くので、事前に熊本出身の後輩にどんなところか聞くと、米子と大して変わらないと言っていたので余裕綽々で現地に向かいましたが、到着して驚きました。人がたくさんいました。くもモンもたくさんいました。

熊本市の人口はなんと74万人、鳥取の県の人口(54万人)よりも多い都市です。はるかに都会でした。この時、後輩は米子に気を使ってくれていたのだと気がきました。むしろ気を使いすぎです。そして周りは学会の参加者であろうスーツの人だらけ。コロナ禍で学会はずっとWeb形式だったので、対面式となるとやはり緊張感がありました。

今回私は「入院患者の低尿酸血症の病態に関する検討」という演題で発表させていただきました。尿酸の分野において権威である久留院長にご指導いただき、低尿酸血症の頻度と原因について検討を行いました。発表前は緊張しましたが、久留院長が「ここから写真撮りますね」と優しい口調でおっしゃってください、少し気持ちが和みました。残念ながらベスト口演賞は逃しましたが、我ながら堂々と発表できたのではないかと思います。

尿酸は高値だと痛風になるというイメージがあるのではないのでしょうか。低ければ問題ないように思いますが、低すぎても尿路結石を合併するなどの問題が報告されており、最近研究が進んでいる疾患です。私たち臨床検査技師は血液検査やエコーなど患者さんの様々な検査データを測定する仕事をしています。実際に患者さんと関わる機会は少ないですが、患者さんの検査データには1番近くで向き合っています。今回久しぶりに対面式の学会に参加して、緊張感のある中様々な発表を聞いたことはとてもよい刺激となり、今後へのモチベーションにも繋がりました。これからも正確なデータを提供できるよう努力してまいります。

最後になりましたが、ご指導いただいた久留院長、富田先生、ご協力いただいた皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



地域のみなさまへ

定期的に健診を受けることをお勧めします

病気はある日突然やってくるわけではなく、少しずつ体に変化が現れています。普段の健康管理も大切ですが、健診を受けてご自身のデータを把握することも健康への第一歩です。検査にこられる患者さんは不安を抱えておられる方も多く、私たちも検査の際、緊張されないように話しかけたりして、リラックスできる環境づくりにも尽力しています。ご不明、ご不安なことなどありましたら遠慮なくお声掛けください。

第76回 The 76th Annual Meeting of Japanese Society of National Medical Services
国立病院総合医学会

2022年10月7日金・8日出
熊本城ホール
市民会館シアーズホーム夢ホール
熊本市国際交流会館

会長 高橋 毅
副会長 上山 秀樹
幹事 森田 茂樹

立上り演題 熊本医療センター 院長
立上り演題 熊本医療センター 院長
立上り演題 熊本医療センター 院長

Branding, Presence, Marketing
～選ばれるためには～

株式会社 コンベジションリンクージ
〒961-8501 熊本県熊本市中央区南一条1-1-1
TEL 096-222-8847 FAX 096-273-9891
E-mail: info@conlinkage.co.jp

<https://c-linkage.co.jp/76nms/>

認定看護師の活動

認定看護師って?



認知症看護認定看護師
大林 真由美

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格。患者さんやご家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。

患者さんのニーズを充たす看護を目指して

認知症看護認定看護師としての活動を開始して4年半になります。認知症看護認定看護師の役割は、認知症の各期に応じた療養環境の調整及びケア体制の構築、行動心理症状の緩和・予防とされています。昨今の高齢化により、認知症をもつ人は増加の一途をたどっており、入院した認知症をもつ方への適切な看護実践が求められています。当院で行っている認知症看護について紹介します。

認知症の方は、様々な認知機能の低下により日常生活に支障をきたしますので、不安や混乱などの情動行動を起こします。周囲の人たちがそれを正しく理解していなければ、不適切な関わりをしてしまい、このことによってさらに認知症の状態が悪くなる可能性があります。声かけや目線など、伝え方を工夫すること、周囲の医療者が言葉や行動の背景を理解して関わることで、落ち着いて入院生活を過ごすことができます。

私達は、現場で日々認知症看護についてカンファレンスを行ってきています。情報共有を行ってケアをしていることが、患者さんの安心につながっていると実感しています。例えば、夜眠れない患者さんへの対応についてカンファレンスを行った時には、まず「なぜ眠れないのだろうか」「なにか眠れ

ない理由があるのではないか」とスタッフへ問いかけています。患者さんが眠れない夜の時間帯の問題に注視し過ぎず、原因を探るようにしています。患者さんの生活パターンがどうなのか、食事や排泄などの生理的ニーズは充たされているのかなど、1日を通して色々な側面から患者さんのことを考えていき、必要なケアを見出しています。

ある認知症患者さんの場合は、スタッフからのアイデアで定期的なトイレ誘導や尿意の解消に努めたケアを取り入れ、みんなで統一して行いました。その結果、夜眠れるようになり昼間は趣味に集中して取り組めるようになりました。私たち看護師のケアによって、患者さんが落ち着いた状態で過ごせるように介入できることを実感し、看護の力に自信を持つことができた経験でした。このような良い看護実践の経験は、スタッフへフィードバックし、認知症看護に自信をもってもらえるように働きかけることは自分の役割だと感じています。認知症の人だけではなく、その人を取り巻く私たちも癒され、共に過ごす時間を楽しめることも大切です。

これからも、認知症患者さんが安心した入院生活を送れるようにケアを行っていきたいと思います。



◀カンファレンスの様子

「スタッフ間での情報共有により異なった角度からの思わぬ視点に気づくことが多くあり、よりよいケアの提案につながります」

緩和ケア研修会を 開催して

緩和ケア内科医長 八杉晶子



2022年10月1日(土)、「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」を米子医療センター車尾ホールにて開催しました。

この研修会は、国の施策であるがん対策推進基本計画において「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられ、緩和ケア研修会の開催指針が作成されており、それに基づいて全国各地で行われているものです。がん等の診療に携わるすべての医師が対象でありこれまでに10万人以上が研修会を修了しています。また医師に限らず、チーム医療として緩和ケアに従事するその他の医療従事者も参加することが望ましいとされています。以前は2日間にわたる研修会でしたが、現在は前もって各自でe-learningを修了し、会場での研修は1日間となりました。

当院はがんの患者さんも多く診療しており、また緩和ケア病棟もあることから例年開催していました。2021年も開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により開催を中止せざるを得ませんでした。今年はコロナウイルス感染症も少し落ち着き、13人の参加者と、私も含め7人のファシリテーターと共に研修会を行うことができました。参加者は、例年は医師が多いのですが今回は医師は6人で、その他に薬剤師、看護師、理学療法士など、チーム医療に携わる多職種の参加がありました。

コミュニケーションの講義では、難治がんになった患者さんへの告知場面を3人1組で、患者役、医者役、観察者役となり交代でロールプレイを行いました。医師は悪い知らせを伝える際にはどのような点に気を付けたらよいのか、患者役では悪い知らせを聞いた時には想像以上にショックをうけてしまうことなど改めて多くの気づきがあったようでした。また医師以外の職種の参加者も、実際の診療の場面で医師の告知のあと自分がどのように患者さんをサポートしたらよいのかなどを考え、活発なフィードバックを行いながらロールプレイを進めていました。

また4～5人でのグループワークでは、提示された進行がん患者の治療やケア、療養場所の選択について事例検討を行いました。これまでの研修会では医師だけのグループになることが多く、薬物投与等の医学的な討論は活発に行われるものの、ケアやご家族への対応、社会的な関わりやサポートなどのディスカッションが進まないことがありました。今年は多職種でのグループワークとなり、各職種の専門分野を各自が積極的に発言し、とても活発なディスカッションを行うことができました。1日を通して、とても活発で和気あいあいとした雰囲気での研修会が進み、無事研修会を修了しました。

研修会で深めた知識を実際の現場で応用し、多職種で協力しながら、患者さんやご家族にとってより良い緩和ケアを提供していける一助となったことと思います。





呼吸器内科 医師
加藤 竜平

呼吸器内科の加藤竜平(かとう りょうへい)と申します。鳥取県米子市出身で、米子東高等学校卒業後、山形大学医学部医学科に進学し、2016年に卒業しました。初期研修2年間は鳥取大学医学部附属病院卒後臨床研修センターに所属し、鳥取大学医学部附属病院呼吸器膠原病内科に入局、鳥取大学病院、山陰労災病院、再度大学病院を経て、この度米子医療センターに赴任させていただきました。

米子医療センターで働くことは今回が初めてですが、同じ校区で小児期を過ごし、日常的にこの病院の周りの用水路で魚取りをして遊んでいた思い出などもあり、個人的に慣れ親しんだ身近な感覚を抱いており、この病院で働き、地域医療に携わることができることに大変うれしく思っております。

内科医、呼吸器内科医としてはまだまだ未熟者ですが、少しでも皆様のお役に立てるよう精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



地域の皆様の生命と健康を守る
米子医療センターを
本年もどうぞよろしくお願いいたします

地域医療連携室の掲示板

地域医療連携係長 吉野 眞由美

在宅ケア研修会 「高齢者の皮膚について」



高齢者の皮膚



昨年10月27日に当院皮膚・排泄ケア認定看護師による「高齢者の皮膚の特徴とスキン-テア（皮膚裂傷）予防」をテーマに在宅ケア研修会を開催しました。地域の高齢者・介護施設、病院に従事されている看護職員、介護職員18名の方を対象者に講義、一部演習形式で行いました。今回の研修では高齢者に起こりやすい皮膚損傷予防のスキルアップを図るため、高齢者が転倒や物にぶつかった際に手や足に発生しやすい傷のうち、スキン-テア（皮膚裂傷）について学びました。

講義ではスキン-テアの原因、予防、ケア方法について説明、写真やイラストを使用したスライドが「分かりやすかった」と好評でした。また、実際に自分の腕にフィルムを貼り、はがしてみることを体験し、「フィルム固定のはがし方などのちょっとした配慮、コツでケア方法が変わるということが看護に大変役立つと思いました」という感想が聞かれました。そして参加者の大半の方から「スタッフに伝達し、明日からのケアに役立てたいです」という声がありました。

これからも地域医療に必要な知識・技術を提供し、医療福祉施設、在宅支援における実践活動につなげることができるよう地域医療者の皆様に役立てていただける情報をお届けできればと考えております。

フィルムドレッシングの剥離方法



栄養管理室の掲示板

栄養管理室 管理栄養士
谷本 夏実



免疫力UPもかなう 冬レシピ 鶏肉とかぼちゃのガーリック醤油炒め

レシピ提供・文責:鳥取短期大学実習生

◇今回のレシピの栄養ポイント

かぼちゃに期待される効果は…免疫力UP!

栄養素ごとの効果は…

- ①ビタミンA(西洋かぼちゃ 焼き100g:450μg)…粘膜や皮膚の乾燥を防ぎ、ウイルスや細菌の侵入を防ぐバリア機能があります。
- ②ビタミンC(西洋かぼちゃ 焼き100g:44mg)…細菌から体を守る白血球の機能を向上させます。
- ③ビタミンE(西洋かぼちゃ 焼き100g:6.9mg)…末梢血管を広げ、血行を良くして自律神経を整えます。

ビタミンA,C,Eには活性酸素を取り除く抗酸化作用という働きがあり、この作用が免疫力UPに繋がります。食べる際のポイントとして、ビタミンAとEは脂溶性のビタミンであり、油と一緒に摂取すると吸収率が上がります。

【栄養成分(1人分当たり)】

エネルギー	116kcal
たんぱく質	13.3g
脂質	6.2g
炭水化物	12.6g
塩分	1.0g

【材料(1人分)】

鶏もも肉(皮なし)	75g(一口大2~3個)
かぼちゃ	55g
にんにく(生)	3g
濃口醤油	6g(小さじ1)
料理酒	5g(小さじ1)
こしょう	0.02g
調合油	4g(小さじ1)

鶏もも肉・・・高たんぱく質食品!皮を取れば低脂質!
皮つき(100g)・・・190kcal、たんぱく質17g、脂質13.5g
皮なし(100g)・・・113kcal、たんぱく質16.3g、脂質4.3g
→皮なしを選ぶことで、エネルギー・脂質を抑えたヘルシー料理になります。



作り方

- ①かぼちゃを薄切りにしレンジで2~3分加熱する。
- ②鶏もも肉は一口大に切る。にんにくは薄切りにする。
- ③フライパンで油を熱しにんにくを炒め、香りが立ったら鶏もも肉を入れて弱火で焼く。
- ④①で加熱したかぼちゃを加えて弱火で炒める。
- ⑤鶏もも肉とかぼちゃに火が通ったら、濃口醤油、料理酒、こしょうを加えて煮からめる。
- ⑥皿に盛りつける。



第18回 中国四国地区国立病院機構・ 国立療養所看護研究学会を 聴講して



55回生(2年生)
青砥 優月

9月10日に開催された第18回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会は、ハイブリット形式で行われました。私たち2年生は、老年看護学実習Ⅰの一環として、リモートで学会に参加させていただきました。

私が特に心に残った看護研究は、認知症の進行により今まで出来ていたことが徐々にできにくくなっているA氏が自分らしく尊厳の守られた生活を送っていくためにどのような支援が必要かについて検討したものです。発表内容は、国際生活機能分類の視点から「生きる全体像」について分析した結果、A氏は「人の手を借りてまで生活したくない」と訴えることが多く、自尊心が強い人、人に弱みを見せることや人に世話になることを嫌がる性格でした。そこで、A氏の認知機能が低下してもできるだけ自立して内服薬を服用するための援助をしていました。援助方法としては、A氏は、自分でコップを持つことができるため、コップの中に内服薬を入れて服用できるように介入していました。患者さんの意思を尊重し、なるべく自立してできるようになるにはどうしたらよいか、患者さんがその人らしい生活を送れるように援助していくことが重要だと学びました。

この看護研究を聴講した時、私は以前行った臨地実習で受け持ちの患者さんの介助が必要な部分に注目していたことに気がつきました。老年看護学実習Ⅱでは、受け持ちの患者さんの残存機能にも視野を広げ、今までの生活習慣を尊重しながら、患者さんがどのように思い、感じているのか、また、患者さんが持っている力を引き出せるような看護を提供したいと改めて感じました。



学校祭を終えて



学校祭実行委員長
55回生(2年生)
岩谷 瞳
石倉 朱莉

10月28日(金)、非公開で学校祭を開催しましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各学年の教室をリモートでつないで行いました。

コロナ禍も3年目となり、学校行事も縮小され、学校生活において他学年と関わる機会が減っていたことから、今年度の学校祭のテーマを、学年の壁を越えて心をつにし、学校祭を楽しめるようにしたいと考え、「上下一心」としました。

Zoomを活用したオンラインでの開催は初めてでしたが、感染予防行動を徹底しながら、学校祭を安全に楽しめるよう、学校祭実行委員が主体となり、映画鑑賞やゲーム、ダンスプロジェクトを企画しました。

開会式では、川上教育主事先生より、「コロナ禍で様々な制約がある中で、何かできることはないかと皆で考え、学校祭を創り上げていった過程は、今後の看護を学んでいく上できっと生かされていくと思います」という言葉をいただきました。

映画鑑賞では、「命の停車場」を鑑賞しました。鑑賞後の感想文の中には、「一人ひとりの患者さんの生き方を尊重した関わりや治療をする中で医療従事者の立場からみると葛藤(ジレンマ)を抱えながら接しておられ、その患者さんに合った声かけや患者さんの想いに寄り添うことの大切さを改めて学んだ」や「対象には様々な想いがあり、自分の死について考えていくことは、自分がどう生きていくかということにつながるのではないと思った」という感想があり、表

現は異なりますが、それぞれが自身の看護観について考える機会となったと思います。

午後からのゲーム等では、各学年でグループを作り、対抗戦で行いました。画面越しではありますが、各学年が楽しそうにされている様子が見られました。私たちの想像を超え、楽しんでいただいたようで、「楽しかった」や「(クイズの中に)国試の問題もあり、楽しくみんなで勉強できた」という感想をいただきました。

ダンスプロジェクトでは各学年が事前に投票して決めた曲に合わせて、当日50分間の中で振付を考えた後、学年ごとにダンス動画を撮影しました。それを学生全員と教員の先生方で鑑賞し、教員の先生方の投票で順位を決定しました。限られた時間の中で、学年全体で心をつにしてダンスに取り組み、撮影方法も工夫した結果、各学年の特徴が現れた、みんなが笑顔で楽しいダンス動画になっていました。

こうした学校祭の1日を最後にショートムービーにまとめ、閉会式で披露し、学校祭は終了しました。

コロナ禍で学校祭を開催するにあたって、初めは準備が不足していたり、伝達がうまくいかないこともありました。最後は全学年で協力して取り組むことができ、テーマにあげた「上下一心」が実現できたのではないかと思います。今回の学校祭を通して学んだことを今後に生かしていきたいと思っています。

1年生



2年生



3年生



実行委員



宣誓式を終えて



56回生(1年生)
佐々木 彩寧

私たち56回生は「兆し(きざし)」というテーマを掲げ宣誓式に取り組みました。「兆し」とは物事が起こることを予想させるような印という意味があります。

私たちはこの「兆し」に、卒業後、患者さんの希望の兆しとなれるような看護師を目指すという思いを込めました。また、この宣誓式が、看護師と言う目標に向かって35名がひとつになって歩くための兆しとなってほしいという願いも込めてあります。

モニュメントは、自分の理想の看護師像を書いたりボンを花に巻き付け、先生も含めた36本の花をひとつの花瓶に生けました。このモニュメントのように、個性豊かな私たちがひ

とつになり、同じ目標に向かって努力していくための象徴を作ることができました。

今年の宣誓式は、数年ぶりに保護者も出席した式となりました。コロナ禍によって行動が制限される中、普段お世話になっている方々の前で式を行えたことに喜びと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この宣誓式は、私たちの目指す看護師像について、深く考える良い機会となりました。これからも35人で助け合いながら2年後、笑顔で看護師になれるよう、さらに日々の学習に力を入れていきたいと思っています。





米子医療センターガジン

あーかす #39 アークス

January 2023

平成26年1月10日／初刊発行

令和5年1月10日／発行

発行/米子医療センター 〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号 デザイン・印刷/ 合同印刷株式会社

保存版

外来診療担当表

令和5年1月1日現在

切り取ってお使いいただけます

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
総合内科		交替医	加藤 竜平	交替医	交替医	加藤 竜平	
呼吸器内科		富田 桂公	富田 桂公	唐下 泰一	池内 智行	唐下 泰一	
				池内 智行	富田 桂公		
	専門 外来		鳥大医師				
消化器内科		香田 正晴	原田 賢一	松岡 宏至	香田 正晴	松岡 宏至	
		大山 賢治		大山 賢治		原田 賢一	
血液 腫瘍内科		足立 康二	足立 康二	足立 康二		足立 康二	完全予約制
			前垣 雅哉	但馬史人[第2・第4]		河村 浩二	
	専門 外来			フォローアップ			【診療時間】13時～14時(予約制)
循環器内科			福木 昌治	福木 昌治		福木 昌治	
	専門 外来	福木 昌治			久留 一郎		【診療時間】(月曜日): ペースメーカー外来 13時30分～予約制 【診療時間】(木曜日): 高血圧・高尿酸血症外来 午前中
糖尿病・ 代謝内科		角 啓佑	角 啓佑	角 啓佑	角 啓佑	伊藤 祐一	初診は紹介のみ
緩和ケア内科		八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	※新患は要予約
腎臓内科		山本真理絵	眞野 勉		眞野 勉		
神経内科						守安正太郎	初診は紹介のみ
健診		須田多香子	須田多香子	須田多香子	須田多香子	久留 一郎	事前予約のみ ※乳がん・子宮がん検診を除く
小児科	午前	鳥大医師	佐々木佳裕 岡田 晋一	岡田 晋一	鳥大医師	佐々木佳裕	【診療時間】8時30分～
	午後	佐々木佳裕	鳥大医師	交替医[急患のみ]	佐々木佳裕	岡田 晋一	【診療時間】15時～17時
	専門 外来	岡田 晋一 [小児腎]	佐々木佳裕 [アレルギー] 岡田 晋一 [小児腎]	交替医 [乳児健診] [予防接種]	検 査	林原 博 [アレルギー]	【診療時間】午後～ ※詳細な時間は お問い合わせください
消化器・ 一般外科		奈賀 卓司	交替医	菅澤 健	谷口健次郎	山本 修	
	専門 外来			ストーマ			第1,3週のみ 予約制 【診療時間】13時～16時
胸部・ 乳腺外科		万木 洋平	万木 洋平	万木 洋平	細谷 恵子	万木 洋平	
	専門 外来	リンパ浮腫		リンパ浮腫		フットケア	予約制 ※リンパ浮腫は 月・水曜日の午前中のみ
整形外科		南崎 剛	遠藤 宏治	大槻 亮二	南崎 剛	池田 大樹	
		遠藤 宏治	林原 雅子	池田 大樹	大槻 亮二	林原 雅子	
	専門 外来	南崎 剛	遠藤 宏治		南崎 剛		骨軟部腫瘍
	専門 外来		林原 雅子		大槻 亮二	林原 雅子	火曜:関節リウマチ外来 木曜:関節外科外来 金曜:手の外科外来
泌尿器科		磯山 忠広		磯山 忠広	磯山 忠広	磯山 忠広	
		松川 敦紀		西川 結梨		西川 結梨	
放射線科		杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	
	専門 外来		吉田 賢史	坂口 弘美			放射線治療(完全予約制)
歯科口腔外科			吉田 優	吉田 優	吉田 優	小谷 勇	※金曜日は要相談
耳鼻咽喉科		山本 祐子	鳥大医師		鳥大医師		
眼 科			三宅 敦子		三宅 敦子		
婦人科						交替医	7月～12月のみ月・金

時間 (初診受付)8時30分～11時 (再診受付)8時30分～11時 健康診断受付/毎週火・水・金 予約制



国立病院機構 米子医療センター

〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号
TEL.0859-33-7111(代) FAX.0859-34-1580(代)

診療情報提供書:FAXによる紹介状の送信先

地域医療連携室 直通FAX:0859-37-3931
直通TEL:0859-37-3930